※令和４年度以降入学生用

学校番号	１００５

令和８年度　（学）教育科

教科	（学）教育	科目	カウンセリング入門	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「カウンセリング入門」は総合学科ならではの特色ある科目です。臨床心理学に関する知識を幅広く修得し、カウンセリングに対する興味・関心を高めましょう。
・「カウンセリング入門」は前期科目のため１日に２コマ分の授業を行います。
・「カウンセリング入門」では、１つのテーマに対してお互いに意見を述べたり、グループで議論したり、考えたことをレポートにまとめ発表するといったプロジェクト型の学習を行います。
・様々なカウンセリング実習、心理テスト等の体験を行います。積極的に取り組んでください。
・臨床心理学に関する内容について興味のある分野を調べてまとめる課題を定期的に提出してもらいます。根気強く取り組んでください。
・授業中のプリントの記入においては板書を書き写すだけでは、評価の対象になりません。枠外にあるメモ欄に授業で取り扱った内容について自ら考えたことや気になった点を記入してください。

２　学習の到達目標

臨床心理学の基本概念を学習し基礎知識の習得を目標とする。
（１）理論的な学習にとどまらず、社会でどのように活用されているか、更に自己理解や他者理解にどのように生かすかについて、演習を交えながら体験的な理解をめざし、心理的素養を身に付けるようにする。
（２）カウンセリングの技法を修得しながら自己受容・他者受容についての考察を深め、社会の変化に伴う心理的な諸課題を解決する力を養う。
（３）様々な人間の心の在り方について理解し、現代社会が抱える心理的な諸課題の解決に向けて主体的かつ協働的に取り組む態度の育成を図る。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	内観・エゴグラム・エンカウンターの演習を通して自分の内面をみつめ自己分析ができ、心の構造について理解を深めている。	自己の感情の取り扱いや自己概念についての考察を深め、臨床心理学の基礎知識を日常生活に応用、活用する方法について議論している。	修得した知識・技能を活用して、現代に生きる自己の課題と現代社会が抱える諸課題の解決に向けて主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
4月 ～ 2月	カウンセリングの基本的な考え方	**1. 心の構造** **2. カウンセリングと相談**	a:心の構造やカウンセリングに関する基礎知識を修得し、人間の基本的な感情の種類などを知ることを通して、自己や他者の感情の在り方について理解を深めている。 c:カウンセリング実習に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを認め合いながら、よりよいカウンセリングの在り方を研究している。	ワークシート		ワークシート 観察
		3. カウンセリングの定義 **4. 話すことの意味**	a:カウンセリングの定義を理解し、人間の個性に対する理解を深めるとともに、様々な他者とともに生きていくことについて考察している。 b:エンカウンターの演習を通して、気持ちを素直に表現し、多様な考えを認め合う意義に気づき、現代社会の抱える諸課題について能動的に議論している。	定期考査	定期考査 ワークシート	
	カウンセリングの実際	1. カウンセラーの態度と技法 2. 心理テスト 3. 事例研究	a:様々な心理テスト、内観やエゴグラムによる自己分析を通して、自己理解を深めるための基本的な知識について理解しているとともに、関連する技能を身につけている。 b: カウンセラーの態度と技法に関する実習を通して、自分で探究課題を設定し、関連する情報を集め、整理・分析し、自らの考えを表現している。 c:事例研究を通して、カウンセリングの実際・実情について理解を深め、カウンセリングに関する諸課題の解決に向けて主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけている。	定期考査	定期考査 レポート	観察 レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度